

令和6(2024)年度北海道大学私費外国人留学生(学部)入試基本方針

1 学部・学科等の募集人員等

(1) 募集人員

学部・学科等			募集人員
文学部			若干名(一般選抜前期日程募集人員の内数)
教育学部			
法学部			
経済学部			
理学部	数学科		若干名(一般選抜後期日程募集人員の内数)
	物理学科		
	化学科		
	生物科学科	(生物学専修分野)	
		(高分子機能学専修分野)	
	地球惑星科学科		
医学部	医学科		若干名(一般選抜前期日程募集人員の内数)
	保健学科	看護学専攻	
		放射線技術科学専攻	
		検査技術科学専攻	
		理学療法学専攻	
		作業療法学専攻	
歯学部			若干名(一般選抜後期日程募集人員の内数)
薬学部			
工学部	応用理工系学科		
	応用物理工学コース		
	応用化学コース		
	応用マテリアル工学コース		
	情報エレクトロニクス学科		
	情報理工学コース		
	電気電子工学コース		
	生体情報コース		
	メディアネットワークコース		
	電気制御システムコース		
	機械知能工学科		
	機械情報コース		
	機械システムコース		
	環境社会工学科	環境社会工学科	
社会基盤学コース			
国土政策学コース			
建築都市コース			
環境工学コース			
資源循環システムコース			
農学部			
獣医学部			
水産学部			若干名(一般選抜前期日程募集人員の内数)

(2) 入学時期

令和6(2024)年4月

2 出願資格

日本の国籍を有しない者、かつ、日本国の永住許可を得ていない者で、次に掲げる基礎資格及び要件に該当するもの

(1) 基礎資格：次のいずれかに該当すること。

- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和6(2024)年3月31日までに修了見込みの者（注1）
- ② ①に準ずる者で、文部科学大臣の指定したもの（注2）
- ③ 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
- ④ 外国において、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
- ⑤ 外国において、フランス共和国の大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
- ⑥ 外国において、英国の大学入学資格として認められている General Certificate of Education Advanced Level (GCEA レベル) 資格を有する者

（注1）「12年の課程」には、我が国の学校教育法に基づく課程によるものも含まれます。

（注2）「①に準ずる者で、文部科学大臣の指定したもの」には、次に掲げる者等が該当します。

- a. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に合格した者で、18歳に達したもの及び令和6(2024)年3月31日までに18歳に達するもの
- b. 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する当該国の検定に合格した者を含む。）で、次に掲げる教育施設等において我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了したもの
東京外国語大学留学生日本語教育センター
大阪大学日本語日本文化教育センター
日本学生支援機構東京日本語教育センター
日本学生支援機構大阪日本語教育センター
中国赴日本国留学生予備学校（中華人民共和国吉林省）等
- c. 外国において、高等学校に対応する学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における11年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定する教育課程を修了した者及び令和6(2024)年3月31日までに修了見込みの者

(2) 要件：次に掲げるすべての要件に該当すること。

- ① 「(1) 基礎資格」の①又は②（注2）cに該当する者にあつては、**外国の学校**（地理的、場所的に外国にある学校をいう。）において、**最終学年を含む2年以上継続して在学**したこと。
- ② 独立行政法人日本学生支援機構の実施する「日本留学試験」の本学が指定した科目（「別表」を参照）をすべて受験し、下表の得点以上であること。

ただし、本学出願前の2年以内（令和3(2021)年11月、令和4(2022)年6月、令和4(2022)年11月、令和5(2023)年6月）に受験した日本留学試験のスコアのみを有効とする。複数回の試験のスコアを組み合わせることはできない。

学部・学科	基準点
医学部医学科	「日本語」の得点（記述を含む）が 385 点以上 、「基礎科目（理科と数学）」の得点が 340 点以上
歯学部歯学科	「日本語」の得点（記述を含む）が 360 点以上 、「基礎科目（理科と数学）」の得点が 300 点以上
薬学部薬学科・薬科学科	「日本語」の得点（記述を含む）が 340 点以上 、「基礎科目（理科と数学）」の得点が 300 点以上
獣医学部共同獣医学課程	「日本語」の得点（記述を含む）が 360 点以上 、「基礎科目（理科と数学）」の得点が 320 点以上

その他	「日本語」の得点（記述を含む）が 270 点以上 、「基礎科目（文系は総合科目と数学、理系は理科と数学）」の得点が 265 点以上
-----	---

- ③ 医学部医学科を志願する者は、**TOEFL-iBT** 又は **TOEIC L&R** を受験し、TOEFL-iBT（Home Edition 可、Test Date スコアに限る。）の得点は **79 点以上**、TOEIC L&R の得点は **750 点以上**であること。

3 選抜日程

事 項	日 時 ・ 期 間
出願期間	令和 5 (2023) 年 9 月 22 日 (金) 10 時から 令和 5 (2023) 年 10 月 5 日 (木) 17 時まで（期間内必着） ※ インターネット出願システムは、令和 5 (2023) 年 9 月 13 日（水）10 時から事前登録が可能ですが、郵送受付は上記期間に限りです。
受験番号通知	令和 5 (2023) 年 10 月下旬 ※ 願書受理後、インターネット出願サイトを通じて受験番号を通知します。
第 1 次選考結果発表	令和 5 (2023) 年 11 月 6 日 (月) 16 時（予定）
受験票の発行	第 1 次選考結果発表後、11 月 7 日 (火) 17 時までに掲載 ※ 第 1 次選考合格者は、インターネット出願サイトで受験票（試験場情報、受験者心得等を含む）がダウンロードできるようになります。第 2 次選考当日は、印刷した受験票を持参してください。
第 2 次選考日	令和 5 (2023) 年 11 月 19 日 (日)
合格発表日	令和 5 (2023) 年 12 月 7 日 (木) 16 時（予定）
入学手続期間	令和 5 (2023) 年 12 月 11 日 (月) から 令和 5 (2023) 年 12 月 14 日 (木) 17 時まで（期間内必着）

4 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、次の方法により選考します。

※ 過去の小論文問題、総合問題及び面接内容等は公表していません。

(1) 文学部

1 第 1 次選考

出願書類に基づき、選考を行います。

2 第 2 次選考

第 1 次選考に合格した者に対して、小論文を課し、面接を行います。

- ・小論文：読解力、論理的思考力、問題発見能力、表現力等を問う。
- ・面接：人間や人間の社会・文化・歴史に対する知的関心の度合い、学ぶことに対する目的意識・意欲、表現力等を問う。
- ・英語：TOEFL-iBT（Home Edition 可）の成績の提出を課す。

(2) 教育学部

1 第 1 次選考

出願書類に基づき、選考を行います。

2 第 2 次選考

第 1 次選考に合格した者に対して、課題論文を課し、面接を行います。

- ・課題論文：読解力、論理的思考力及び表現力等を総合的に問う。
- ・面接：目的意識、意欲、論理的思考力、表現力等を問う。
- ・英語：「TOEFL、TOEIC L&R、国連英検、ケンブリッジ英検、実用英語技能検定試験（日本・英検）あるいはこれと同等と認められる英語能力の検定試験の成績通知書等」の提出を課す。

(3) 法学部

1 第 1 次選考

出願書類に基づき、選考を行います。

2 第 2 次選考

第 1 次選考に合格した者に対して、課題論文を課し、面接を行います。

- ・課題論文：読解力、問題発見能力、論理的思考力、表現力等を問う。

- ・面接：目的意識、適性、基礎学力等を問う。
- ・英語：「TOEFL、TOEIC L&R、国連英検、ケンブリッジ英検、実用英語技能検定試験（日本・英検）あるいはこれと同等と認められる英語能力の検定試験の成績通知書等」の提出を課す。

(4) 経済学部

- 第1次選考
出願書類に基づき、選考を行います。
- 第2次選考
第1次選考に合格した者に対して、課題論文を課し、面接を行います。
 - ・課題論文：読解力、論理的思考力、問題発見能力、表現力等を総合的に問う。
 - ・面接：個性、意欲、資質、適性、基礎学力などを問う。
 - ・英語：「TOEFL、TOEIC L&R、国連英検、ケンブリッジ英検、実用英語技能検定試験（日本・英検）あるいはこれと同等と認められる英語能力の検定試験の成績通知書等」の提出を課す。

(5-1) 理学部数学科

- 第1次選考
出願書類に基づき、選考を行います。
- 第2次選考
第1次選考に合格した者に対して、適性試験を課し、面接を行います。
 - ・適性試験：基礎的な知識及び技能の他、思考力及び判断力等を評価する。
適性試験では、前半（60分）で計算を主とする数学の基本問題、後半（120分）で数学の論述問題を課す。
出題範囲は以下のとおりとする。

<共通問題>

科 目	出 題 範 囲
数 学	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B (数学Aは「場合の数と確率」、「整数の性質」、「図形の性質」、 数学Bは「数列」、「ベクトル」とする。)

<選択問題>

科 目	出 題 範 囲
数 学	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B (数学Aは「場合の数と確率」、「整数の性質」、「図形の性質」、 数学Bは「数列」、「ベクトル」とする。)

- ・面接：数学に関する質疑により、基礎学力・論理的思考力及び数学への興味・意欲を問う。
- ・英語：「TOEFL、TOEIC L&R、国連英検、ケンブリッジ英検、実用英語技能検定試験（日本・英検）あるいはこれと同等と認められる英語能力の検定試験の成績通知書等」の提出を課す。

(5-2) 理学部物理学科

- 第1次選考
出願書類に基づき、選考を行います。
- 第2次選考
第1次選考に合格した者に対して、適性試験を課し、面接を行います。
 - ・適性試験：基礎的な知識及び技能の他、思考力及び判断力等を評価する。
適性試験では、前半（60分）で計算を主とする数学の基本問題、後半（120分）で数学及び理科（物理・化学）の論述問題を課す。
出題範囲は以下のとおりとする。

<共通問題>

科 目	出 題 範 囲
数 学	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B (数学Aは「場合の数と確率」、「整数の性質」、「図形の性質」、 数学Bは「数列」、「ベクトル」とする。)

<選択問題>

科 目	出 題 範 囲
数 学	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B (数学Aは「場合の数と確率」、「整数の性質」、「図形の性質」、 数学Bは「数列」、「ベクトル」とする。)
物 理	物理基礎及び物理 (「力学」、「波動」、「熱」、「電磁気 ただし、電磁誘導は除く。」)
化 学	化学基礎及び化学

- ・面接：物理学に対する興味、意欲、適性、そして暗記に頼らない問題解決能力を問う（基礎学力を確認するための、筆答試問・口頭試問を含む）。
- ・英語：「TOEFL、TOEIC L&R、国連英検、ケンブリッジ英検、実用英語技能検定試験（日本・英検）あるいはこれと同等と認められる英語能力の検定試験の成績通知書等」の提出を課す。

(5-3) 理学部化学科

1 第1次選考

出願書類に基づき、選考を行います。

2 第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、適性試験を課し、面接を行います。

- ・適性試験：基礎的な知識及び技能の他、思考力及び判断力等を評価する。

適性試験では、前半（60分）で計算を主とする数学の基本問題、後半（120分）で数学及び理科（化学・物理）の論述問題を課す。

出題範囲は以下のとおりとする。

<共通問題>

科 目	出 題 範 囲
数 学	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B (数学Aは「場合の数と確率」、「整数の性質」、「図形の性質」、 数学Bは「数列」、「ベクトル」とする。)

<選択問題>

科 目	出 題 範 囲
物 理	物理基礎及び物理 (「力学」、「波動」、「熱」、「電磁気 ただし、電磁誘導は除く。」)
化 学	化学基礎及び化学

- ・面接：意欲、目的意識、化学に対する興味、適性等を問う。
- ・英語：「TOEFL、TOEIC L&R、国連英検、ケンブリッジ英検、実用英語技能検定試験（日本・英検）あるいはこれと同等と認められる英語能力の検定試験の成績通知書等」の提出を課す。

(5-4) 理学部生物科学科（生物学専修分野）

1 第1次選考

出願書類に基づき、選考を行います。

2 第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、総合問題を課し、面接を行います。

- ・総合問題：論理的思考力を問う。
- ・面接：意欲、目的意識、生物科学に対する興味、適性及び基礎学力等を問う（基礎学力を確認するための、筆答試問・口頭試問を含む）。
- ・英語：「TOEFL、TOEIC L&R、国連英検、ケンブリッジ英検、実用英語技能検定試験（日本・英検）あるいはこれと同等と認められる英語能力の検定試験の成績通知書等」の提出を課す。

(5-5) 理学部生物科学科（高分子機能学専修分野）

1 第1次選考

出願書類に基づき、選考を行います。

2 第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、総合問題を課し、面接を行います。

- ・総合問題：論理的思考力を問う。
- ・面接：意欲、目的意識、生物科学に対する興味、適性及び基礎学力等を問う（基礎学力を確認するための、筆答試問・口頭試問を含む）。
- ・英語：「TOEFL、TOEIC L&R、国連英検、ケンブリッジ英検、実用英語技能検定試験（日本・英検）あるいはこれと同等と認められる英語能力の検定試験の成績通知書等」の提出を課す。

(5-6) 理学部地球惑星科学科

1 第1次選考

出願書類に基づき、選考を行います。

2 第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、総合問題を課し、面接を行います。

- ・総合問題：論理性と判断力を問う。
- ・面接：意欲、目的意識、論理的思考力を問う（基礎学力を確認するための、筆答試問・口頭試問を含む）。
- ・英語：「TOEFL、TOEIC L&R、国連英検、ケンブリッジ英検、実用英語技能検定試験（日本・英検）あるいはこれと同等と認められる英語能力の検定試験の成績通知書等」の提出を課す。

(6) 医学部医学科

1 第1次選考

出願書類に基づき、選考を行います。

2 第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、課題論文を課し、面接を行います。

- ・課題論文：日本語能力、論理性、読解力、思考力、判断力等を問う。
- ・面接：主に、日本の高等学校における理科、特に生物について、高い理解力を有しているか問う他、意欲、目的意識、実行力、適性等を問う。
- ・英語：TOEFL-iBT（Home Edition 可、Test Date スコアに限る）、TOEIC L&R のいずれかの成績の提出を課す。

(7) 医学部保健学科

1 第1次選考

出願書類に基づき、選考を行います。

2 第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、課題論文を課し、面接を行います。

- ・課題論文：日本語能力、論理性、読解力、思考力、判断力等を問う。
- ・面接：意欲、目的意識、実行力、適性等を問う他、放射線技術科学専攻志願者にあつては、日本の高等学校における理科の物理について、検査技術科学専攻志願者にあつては、日本の高等学校における理科の化学について、高い理解力を有しているかを問う。
- ・英語：「TOEFL、TOEIC L&R、国連英検、ケンブリッジ英検、実用英語技能検定試験（日本・英検）あるいはこれと同等と認められる英語能力の検定試験の成績通知書等」の提出を課す。

(8) 歯学部

1 第1次選考

出願書類に基づき、選考を行います。

2 第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、課題論文を課し、面接を行います。

- ・課題論文：読解力、論理的思考力を問う。
- ・面接：意欲、表現力、論理性、協調性及び日本の高等学校における理科（物理・化学・生物の3科目）のうち、本学が指定した2科目の理解度を問う。
- ・英語：「TOEFL、TOEIC L&R、国連英検、ケンブリッジ英検、実用英語技能検定試験（日本・英検）あるいはこれと同等と認められる英語能力の検定試験の成績通知書等」の提出を課す

(9) 薬学部

1 第1次選考

出願書類に基づき、選考を行います。

2 第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、総合問題を課し、面接を行います。

- ・総合問題：基礎的な科学的知識、論理的思考力、語学力を問う。
- ・面接：意欲、目的意識、積極性、論理性、会話の簡潔性、理科(物理・化学・生物のうち、高等学校等で履修した2科目)の理解度を問う(理科（物理、化学、生物）の基礎的理解力を問うための口頭試問を含む)。
- ・英語：「TOEFL、TOEIC L&R、国連英検、ケンブリッジ英検、実用英語技能検定試験（日本・英検）あるいはこれと同等と認められる英語能力の検定試験の成績通知書等」の提出を課す

(10) 工学部

1 第1次選考

出願書類に基づき、選考を行います。

2 第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、面接を行います。

- ・面接：基礎学力、日本語学力及び論理的思考力等を問う。
- ・英語：「TOEFL、TOEIC L&R、国連英検、ケンブリッジ英検、実用英語技能検定試験（日本・英検）あるいはこれと同等と認められる英語能力の検定試験の成績通知書等」の提出を課す

(11) 農学部

1 第1次選考

出願書類に基づき、選考を行います。

2 第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、課題論文を課し、面接を行います。

- ・課題論文：自分の考えを論理的に記述する能力を問う。
- ・面接：意欲、目的意識、論理性、協調性、適性、基礎学力等を問う。
- ・英語：「TOEFL、TOEIC L&R、国連英検、ケンブリッジ英検、実用英語技能検定試験（日本・英検）あるいはこれと同等と認められる英語能力の検定試験の成績通知書等」の提出を課す。

(12) 獣医学部

1 第1次選考

出願書類に基づき、選考を行います。

2 第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、総合問題を課し、面接を行います。

- ・総合問題：高等学校で学習する理科（物理、化学、生物のうち、高校等で履修した2科目）の理解度、読解力、論理的思考力を問う。
- ・面接：意欲、資質、適性、基礎学力等を問う。
- ・英語：「TOEFL、TOEIC L&R、国連英検、ケンブリッジ英検、実用英語技能検定試験（日本・英検）あるいはこれと同等と認められる英語能力の検定試験の成績通知書等」の提出を課す。

(13) 水産学部

1 第1次選考

出願書類に基づき、選考を行います。

2 第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、総合問題を課し、面接を行います。

- ・総合問題：基礎的な科学的知識、読解力、論理的思考力を問う。
- ・面接：目的意識、積極性(意欲)、表現力、協調性等を問う。
- ・英語：「TOEFL、TOEIC L&R、国連英検、ケンブリッジ英検、実用英語技能検定試験（日本・英検）あるいはこれと同等と認められる英語能力の検定試験の成績通知書等」の提出を課す。

別表 1

私費外国人留学生入試における「日本留学試験」の指定科目

○印は該当することを、×印は該当しないことを示す。

学部・学科等名			日本留学試験の受験を要する科目等					
			日本語	理 科		総合科学	数 学	
文 学 部			○	×	—	○	○	コース1 又はコース2
教 育 学 部			○	×	—	○	○	コース1 又はコース2
法 学 部			○	×	—	○	○	コース1 又はコース2
経 済 学 部			○	×	—	○	○	コース1 又はコース2
理学部	数 学 科		○	○	化学、生物から1科目と物理	×	○	コース2
	物 理 学 科		○	○	物理、化学	×	○	コース2
	化 学 科		○	○	物理、化学	×	○	コース2
	生 物 科学科	生物学専修分野	○	○	物理、化学から1科目と生物	×	○	コース2
		高分子機能学専修分野	○	○	物理、化学、生物から2科目	×	○	コース2
	地 球 惑 星 科 学 科		○	○	物理、化学、生物から2科目	×	○	コース2
医学部	医 学 科		○	○	物理、化学	×	○	コース2
	保健 学科	看 護 学 専 攻	○	○	物理、化学、生物から2科目	×	○	コース2
		放射線技術科学専攻	○	○	化学、生物から1科目と物理	×	○	コース2
		検査技術科学専攻	○	○	物理、生物から1科目と化学	×	○	コース2
		理学療法学専攻	○	○	物理、化学、生物から2科目	×	○	コース2
		作業療法学専攻	○	○	物理、化学、生物から2科目	×	○	コース2
歯 学 部		○	○	物理、化学から1科目と生物	×	○	コース2	
薬 学 部		○	○	物理、化学、生物から2科目	×	○	コース2	
工学部	応用 理工系 学科	応用物理工学コース	○	○	化学、生物から1科目と物理	×	○	コース2
		応用化学コース	○	○	物理、化学	×	○	コース2
		応用マテリアル工学コース	○	○	物理、化学	×	○	コース2
	情報エレクトロニクス学科		○	○	化学、生物から1科目と物理	×	○	コース2
	機 械 知 能 工 学 科		○	○	化学、生物から1科目と物理	×	○	コース2
	環 境 社 会 工 学 科		○	○	化学、生物から1科目と物理	×	○	コース2
農 学 部		○	○	物理、化学、生物から2科目	×	○	コース2	
獣 医 学 部		○	○	物理、化学から1科目と生物	×	○	コース2	
水 産 学 部		○	○	物理、化学、生物から2科目	×	○	コース1 又はコース2	